



↑入谷小ホームページへ↑

入小安全便り



令和5年1月11日発行 No.11

文責：安全担当（松岡）

【1年のスタートに当たって、家庭のルールを確認しませんか】

あけましておめでとうございます。今年も入小安全便りでは、災害に対する安全な行動や、子供たちや保護者の皆様の安心につながる情報をお伝えしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

冬休みが終わり、今週は学校の生活リズムに戻すための1週間となりそうです。我が家のことで恐縮ですが、子供たちは休業中、自分中心に行動することが多かったので、学校のリズムやルール、友達付き合いにおいて苦勞するかもしれないという思いになります。ただ、自分勝手に振る舞うことで、結局は子供自身が損をしないように、地域社会の一員として改めてルールを確認させたいと親として思うものです。

以前、文部科学省から「家庭教育手帳」というものが出されました。10年以上前の資料ですが、大切なことはいつでも変わらないのだと感じました。以下のQRコードから関連する資料を見ることができますので、1年のスタートに当たって、家庭ルールの確認してみてもはどうでしょうか。



4. 家庭でのルール

ルールを守るものは、
ルールに守られる。



- ルールってだれのためにあるんだろう。
- 子どもの言うことを何でも聞くことが、親のやさしさとは限らない。
- テレビやビデオは使いよう。
- 携帯電話やパソコンは使いよう。
- 情報モラルについて家庭で話し合いましょう。
- 子どもを有害な情報から守るために。
- 家事を手伝わせたら、子どもがしっかりしてきた。
- 子ども部屋を与えるときには、そのルールも与えよう。

本和加家の場合

